

久我山たより

令和 7 年 1 月 8 日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

夢中になる時間

校長 守田 聰美

明けましておめでとうございます。

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

大谷翔平選手を筆頭に海外で活躍する日本人が増えたように思います。数十年前は、大リーグで活躍する選手になることなど、夢のまた夢でした。その中で岩手県から菊池雄星選手、大谷選手、佐々木朗希選手と次々に大物選手が誕生するのは偶然ではないように思えます。野球の環境だけでなく、自分と等身大の若者がメジャーで活躍しているのを見て『自分にもできる』と思えるようになるからではないでしょうか。自分の能力や夢に蓋をしてしまうのは、案外、自分自身や身近な人なのかもしれません。

菊池雄星選手は、ある新聞のインタビューで、自分は決して才能に恵まれているわけではなく『やり続けること』で才能や能力の不足をカバーしてきた。うまくなる魔法は一つもない。努力は欠かせないと述べる一方で、中学時代の猛練習を省みて「夜遅くまで練習したので、いつも寝るのは0時頃、成長期に最も必要な睡眠や休息が疎かになっていた。」と、苦い経験を語っています。

夢を叶えることや懸命に努力することは、本当に素晴らしいことです。一方、世の中には、夢を叶えるためにと、親子でがんばり過ぎてしまい、身体をこわしてしまう選手もいるそうです。

夢を叶えるというと大谷選手の記録のように素晴らしい結果ばかりに目が奪わがちですが、自分の夢や目標に向かって努力することや、懸命にがんばる過程そのものも、素晴らしいことではないでしょうか。「夢中」で葛藤する時間、好きなことを極め、少しでも自分を成長させようと「夢中」で取り組む時間にも「命は輝く」のだと思います。夢中になる時間、そこは既に「夢の中」にいる時間なのではないでしょうか。

『桃栗三年、柿八年。』それぞれ実が成る時期は異なり、どの木もすぐに実をつけるわけではありません。本校の子どもたちには夢中になれる時間をたっぷり味わい、大地に深く根をおろし、丈夫な幹に枝を広げ、葉を茂らせ、それぞれの素敵な花を咲かせて欲しいと願っています。きっと格別な実がなると信じています。

今年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。変化にしなやかに対応しながら着実に成長し、これまで重ねてきた努力が実を結ぶ年だと言われています。教職員一同、保護者、地域の皆様と共に、子どもたちのよりよい成長を目指して参ります。

1月の生活目標

気持ちのよいあいさつをしよう

「明けましておめでとうございます」新年のあいさつは気持ちのよいものです。これから新しい年が始まるという期待で、自然と晴れやかな気持ちになります。毎日のあいさつも同じように、あたたかく、気持ちのよいあいさつを心掛けたいです。気持ちのよいあいさつとは、どんなものなのでしょう。

- ① 「明るく元気がいい」・・・元気なあいさつは、やる気を高めます。
- ② 「丁寧な」・・・優しい声や丁寧な言葉からは、その人の気持ちが伝わります。
- ③ 「相手より早い」・・・自分より早くあいさつしてくれたという印象は、心に残ります。

毎日のあいさつが、お互いに気持ちよくできるよう、学校でも日々言葉を掛けていきます。

(生活指導委員会 橋内 柚季)